科目ナンバリング							
授業科目名 <英訳>	宇宙総合学 Synergetic Studies for Space			担当者所属 職名・氏名	理学研究科 教授 柴田 一成 宇宙総合学研究ユニット 特任教授 中野 不二男 工学研究科 教授 藤本 健治 文学研究科 教授 伊藤 和行 総合生存学館 特定教授 土井 隆雄 文学研究科 教授 伊勢田 哲治 人間・環境学研究科 教授 石原 昭彦 ヒト行動進化研究センター 教授 湯本 貴和 アジア・アフリカ地域研究研究科 教授 木村 大治		
群	統合科学科目群	分野(分類)	その他統合科学	使用言語	日本語		
旧群	B群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2025・前期	曜時限	火4	配当学年	主として1・2回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

授業のテーマは、2008年に発足した京大学内の分野横断的組織である宇宙総合学研究ユニットで開拓されつつある新しい学問「宇宙総合学」。

「宇宙総合学」とは、宇宙に関連するあらゆる学問分野、天文学、宇宙物理学、地球惑星科学などの理学から、宇宙航空工学、宇宙放射線科学、宇宙エネルギー学などの工学、宇宙医学、宇宙農学、宇宙生物学などの生命科学、さらには宇宙倫理学、宇宙法、宇宙人類学などの文系の学問を総合して宇宙進出にともなう諸問題を解決しようという学問のことを言う。

本講義では、京都大学で新しく生まれつつある宇宙総合学入門を前半で講義し、後半では有人宇宙開発を進める上で解決しなければならない諸問題を研究する有人宇宙学の基礎を学生に教授する。

[到達目標]

人類の宇宙進出に関わる問題が、狭い意味での理学、工学系のみならず、生物学・医学、さらには人文社会系の問題にまで幅広く関係していることを理解する。そして、これらの分野横断的な宇宙進出に関わる諸問題を解決するには、何を学び、何をする必要があるか、自分の頭で考える能力を養う。

[授業計画と内容]

本授業は、宇宙総合学研究ユニットの構成教員によるリレー講義形式で実施する。

2018年度は、以下のテーマ（宇宙総合学入門と有人宇宙学）について、大学初年級学生向けに入門的講義を行う。（講義内容と担当教員を示す。一教員一コマの予定である。）

宇宙総合学入門

1. 太陽フレアと宇宙天気予報　柴田一成
2. 宇宙ビジネス　浅田正一郎（スペースフォーラム）
3. 宇宙政策　中野不二男
4. 宇宙システム制御　藤本健治
5. 太陽系探査と火星　宮本英昭（東大）
6. 人類の宇宙観の変遷　伊藤和行
7. 宇宙落語　林家染二（噺家）

宇宙総合学(2)へ続く↓↓↓

宇宙総合学(2)

有人宇宙学

8.	有人宇宙活動	土井隆雄
9.	宇宙倫理学	伊勢田哲治
10.	宇宙医学	石原昭彦
11.	宇宙農業	保尊隆享(大阪市立大)
12.	宇宙霊長類学	湯本貴和
13.	宇宙飛翔体工学	稲谷芳文(宇宙研)
14.	宇宙人類学	木村大治

（注）講義の順序は、担当教員の都合により、必ずしもこの順序通りではないことに、注意されたい。

※コーディネーター：柴田　一成（理学研究科教授）

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

毎回の授業の際に小レポートを書かせ、毎回の教員が採点、全講義終了後に、全提出レポートの点数を総合して合否を判定する。
なお、レポートは出席ではない。レポートを提出しても、0点となることがあることに注意。

[教科書]

使用しない

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

（関連ＵＲＬ）

http://www.kwasan.kyoto-u.ac.jp/usss/(宇宙総合学研究ユニットのホームページ)

[授業外学修（予習・復習）等]

予習は必要ではないが、授業中に積極的に質問することを奨励する。また、授業後には、授業中にいだいた疑問や興味を図書室やインターネットでさらに深く調べることをすすめる。常に「自分は何がわかって、何がわかっていないか」自問自答し、考えや疑問点を整理する習慣を身に付けてほしい。「自分は何がわかって、何がわからないのか」ということを、わかっていないのが、一番良くない。

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]